

献血ルーム

献血バス



献血ルームの受付時間・献血バスの運行予定
(愛知県赤十字血液センターWebページ)

献血ルーム7オアシス
〒451-0051 名古屋市港区別所町3-1-17
イオンモール Nagoya North Gate Garden 3F
<TEL> 052-462-8090
<休日> 年中無休 (年末年始を除く)



大須万松寺献血ルーム
〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-40
万松寺ビル 1F
<TEL> 052-251-7161
<休日> 年中無休 (年末年始を除く)



豊田献血ルーム
〒471-0026 豊田市若宮町1-57-1
T-FACE A館 9F
<TEL> 0565-35-4480
<休日> 火曜日、年末年始



岡崎献血ルーム
〒444-0864 岡崎市明大寺町字寺東1-1
名鉄東岡崎駅南5F
<TEL> 0564-52-1800
<休日> 金曜日、年末年始



愛知県赤十字血液センター
〒489-8555 瀬戸市南山口町53-3
<TEL> 0561-84-1131
<休日> 日曜日、祝日、年末年始



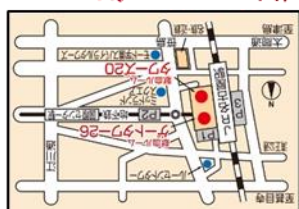
豊橋事業所
〒441-8083 豊橋市東路3-4-1
<TEL> 0532-32-1331
<休日> 日曜日、祝日、年末年始



栄献血ルーム
〒460-0008 名古屋市中区栄3-15-33
栄ガスビル 9F
<TEL> 052-242-7030
<休日> 年中無休 (年末年始を除く)



献血ルーム7-20
〒450-6020 名古屋市中村区名駅1-1-4
JREビル7F-X 20F
<TEL> 052-571-1002
<休日> 年中無休 (年末年始を除く)



受付は献血ルームと献血バスで！

届けたい



この思い

はじめての献血

愛知県保健医療局生活衛生部医薬安全課
052-954-6305(ダイヤルイン)
令和6年11月作成



もっと知ってほしい、**献血**のこと。

献血の役割は？

血液は酸素や栄養を体中に運び、生命の維持に欠かせない役割を担っています。日夜、医療機関で使用する輸血用血液製剤は、皆さんの日々の**献血**によって支えられています。

●赤血球製剤

出血及び赤血球が不足する状態等に使用。



●全血製剤

大量出血などすべての成分が不足する状態等に使用。



●血漿分画製剤

やけど、重症感染症の予防治療のため等に使用。



●血小板製剤

血小板数の減少による出血ないし出血傾向のある場合に使用。



けっしょう

●血漿製剤

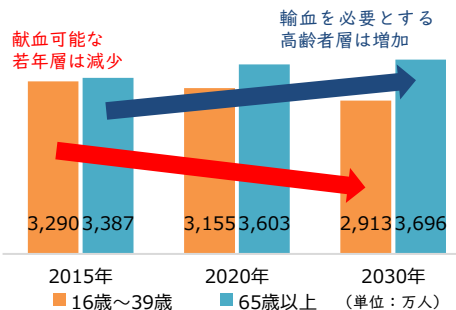
複数の血液凝固因子の欠乏による出血又は出血傾向のある場合に使用。



献血の課題は？

日本国内では、少子高齢化等の影響により、主に輸血を必要とする高齢者層が増加し、献血ができる若い世代が減少しています。

また、若い世代の献血者数も減少しており、今後献血者数の減少によって、血液製剤の安定供給に支障をきたす恐れがあります。



●輸血が必要な人は、毎日約3,000人！

日本国内では、1日あたり約3,000人の患者さんが輸血を受けています。

●1日約14,000人！

患者さんが必要とする血液を確保するために、1日に約14,000人の献血者に御協力いただいています。

●人工的に造れず、長期保存もできない

輸血に必要な血液は、生きた細胞の集まりなので、まだ人工的に造ることができず、長期保存もできません。

●若者の献血者は、3割(80万人)減少

10～30代の献血協力者数は、この10年間で3割(約80万人)も減少しています。

献血へ行こう。命につながるボランティア。

献血の種類と主な採血の基準

全血献血

200mL献血

400mL献血

血液中すべての成分を採血する方法です。

成分献血

血小板成分献血

血漿成分献血

血小板・血漿だけ採血する方法です。体内で回復するのに時間のかかる赤血球は、再び体内に戻します。

		200mL献血	400mL献血	成分血漿
年齢	男	16歳から	17歳から	18歳から
	女		18歳から	
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上

注) 献血可能年齢には上限があります。

血色素量等の基準や、年間献血回数、献血の間隔等に定めがあります。

詳しくは愛知県赤十字血液センター、医薬安全課のWebページを御覧ください。

献血ありがとうの声

輸血を受けた患者さんの声
(愛知県赤十字血液センターWebページ)



あなたにしか救えない、いのちがあります

- 日本では毎年約1万人の方が白血病などの血液疾患を発症しています。そのうち、2千人近くの方が骨髄バンクからの骨髄移植や末梢血幹細胞移植を必要としています。
- 移植を待つ患者さんは、骨髄バンクに登録されたドナーとの相性で提供を受けることができます。しかし、相性の良い人が見つかるのは稀なことやドナーの都合などで提供できないこともあるため、「5人に2人」は移植を受けることができません。
- 骨髄バンクとは、病気で骨髄移植などを必要としている患者さんとドナーをつなげる事業です。移植を待つ患者さんを一人でも多く救うためにも登録をお待ちしています。

骨髄バンクドナー登録できる方

- ①骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方
- ②年齢が18歳以上、54歳以下で健康状態が良好な方
- ③体重が男性45kg以上、女性40kg以上の方

●骨髄・末梢血幹細胞を提供できる年齢は20歳以上です。

骨髄バンクについての詳細は、日本骨髄Webページを御覧ください。
(<https://www.jmdp.or.jp/>)

